

平成25年度

人事行政の運営の状況

## I 職員の任免に関する状況

### 1 職員数の状況

(1) 採用、退職(平成24年度)

	人数	職種
採用	3	一般行政職 3
退職	23	一般行政職 19、労務職 4

## II 職員の給与及び職員数に関する状況

### 1 総括

#### (1) 人件費の状況(普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (24年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 23年度の人件費率
24年度	人 30,848	千円 21,953,017	千円 581,140	千円 3,139,986	% 14.3	% 15.0

#### (2) 職員給与費の状況(普通会計決算)

区分	職員数 A	給与費				(参考)一人当たり給与費 B/A	(参考)類似団体平均一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	千円	千円
24年度	人 290	千円 1,186,311	千円 184,143	千円 428,534	千円 1,798,988	千円 6,203	千円 5,696

(注)1 職員手当には退職手当を含まない。

2 職員数は、平成25年4月1日現在の人数である。

#### (3) 特記事項

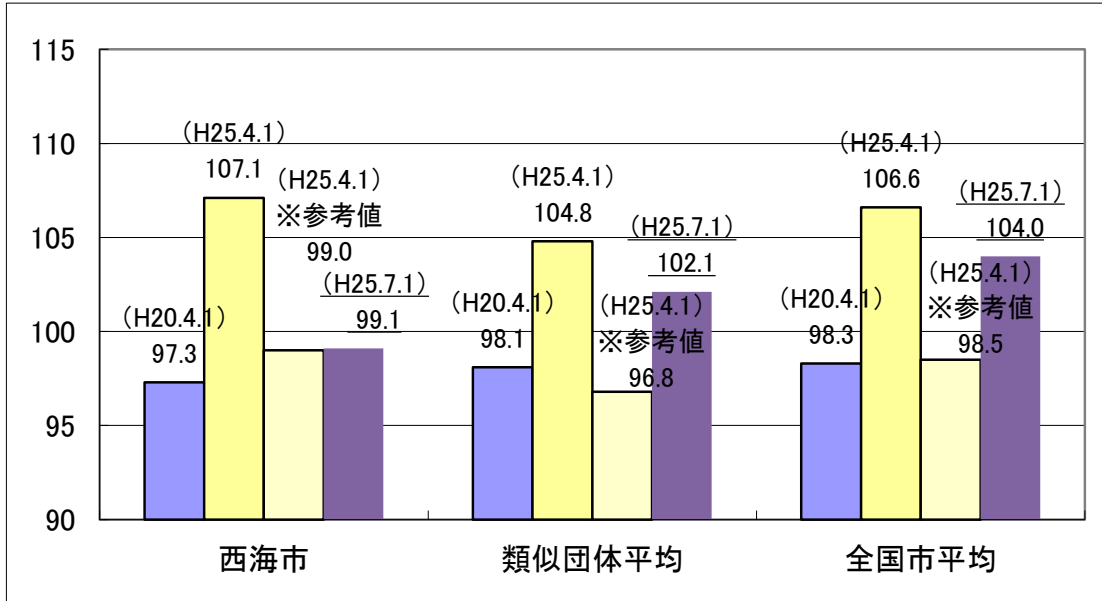
(給与減額の状況)

国の要請等を踏まえた減額措置の取組	減額実施期間又は減額を実施していない場合はその理由
実施	平成25年7月1日から平成26年3月31日まで
抑制済又は減額措置の内容	
(給料)	
【給料月額に下記の支給減額率を乗じて得た額を減額】	
・行政職給料表	2級以下 100分の4.77 3級以上 100分の7.77
・海事職給料表	3級以下 100分の4.77 4級以上 100分の7.77
・教育職給料表	1級 100分の4.77 2級以上 100分の7.77
・医療職給料表(1)	1級 100分の4.77 2級 100分の7.77 3級以上 100分の9.77
※江島診療所及び平島診療所に勤務する医師を除く。	
・医療職給料表(2)	(3)2級以下 100分の4.77 3級以上 100分の7.77
・労務職給料表	2級以下 100分の4.77 3級以上
【ラスパイレス指数(一般行政職)】	
・平成25年4月1日	107.1
・平成25年4月1日(参考値)	99.0
・平成25年7月1日	99.1
(手当)	
【給料月額に連動する手当】	
減額前の下記手当額に給料月額の支給減額率を乗じて得た額を減額。	
・時間外勤務手当、特殊勤務手当のうち税務手当・航海手当、特勤勤務手当	
【給料月額に連動しない手当】	
減額前の下記手当額に100分の10を乗じて得た額を減額。	
・管理職手当	

(その他)

平成17年4月1日に合併(西彼町、西海町、大島町、崎戸町、大瀬戸町)

(4) ラスパイレス指数の状況(各年4月1日現在)



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数(構成)を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職棒給表(一)適用職員の棒給月額を100として計算した指数。
- 2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。
- 3 「参考値」は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定・臨時特例法による給与減額措置が無いとした場合の値である。

## 2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

### (1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(25年4月1日現在)

#### ① 一般行政職

区分	平均年齢	平均給料額	平均給与額	平均給与月額 (国比較ベース)
西海市	42.6歳	327,200円	414,656円	353,673円
長崎県	43.8歳	335,893円	414,935円	370,537円
国	43.1歳	307,220(332,446)円	—	376,257(405,463)円
類似団体	43.3歳	325,498円	374,496円	350,250円

#### ② 技能労務職

区分	公務員					県内民間			参考 A/B
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国比較ベース)	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	
西海市	52.1歳	18人	332,300円	371,767円	344,809円	—	—	—	—
うち清掃職員	46.1歳	2人	238,900円	322,046円	251,900円	廃棄物処理業従業員	44.6歳	290,600円	1.11
うち用務員	52.6歳	11人	344,300円	365,518円	355,953円	用務員	53.7歳	202,700円	1.80
長崎県	50.6歳	201人	336,027円	386,115円	359,904円	—	—	—	—
国	49.9歳	3,272人	272,119(286,850)円	—	309,534(325,400)円	—	—	—	—
類似団体	49.7歳	21人	304,468円	326,175円	315,565円	—	—	—	—

区分	参考 年収ベース(試算値)の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C/D
	西海市	5,848,404	—
うち清掃職員	4,818,702	3,980,600	1.21
うち用務員	5,822,424	2,809,400	2.07

※ 民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。(平成22年～24年の3ヶ年平均)

※ 技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

※ 年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

(注) 1 「平均給料月額」とは、平成25年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出している。

3 国家公務員欄における「平均給料月額」及び「平均給与月額(国比較ベース)」の括弧書きは、給与改定・臨時特例法による給与減額措置がないとした場合の値(減額前)である。

### (2) 職員の初任給の状況(25年4月1日現在)

区分		西海市	長崎県	国
一般行政職	大学卒	172,200円	172,200円	163,987(172,200)円
	高校卒	140,100円	140,100円	133,418(140,100)円
技能労務職	高校卒	137,200円	154,300円	—
	中学卒	—	139,700円	—

(注) 国家公務員欄における括弧書きは、給与改定・臨時特例法による給与減額措置がないとした場合の値(減額前)である。

### (3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(25年4月1日現在)

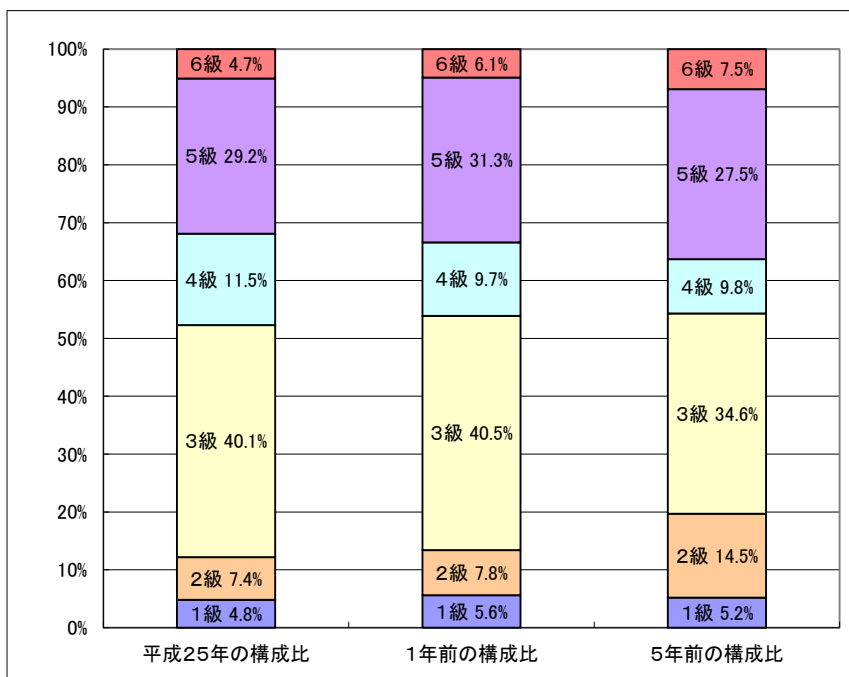
区分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大学卒	250,400円	357,800円	388,000円	403,200円
	高校卒	207,000円	304,200円	361,800円	392,900円
技能労務職	高校卒	194,400円	262,500円	296,500円	345,100円

### 3 一般行政職の級別職員数等の状況

#### (1) 一般行政職の級別職員数の状況(25年4月1日現在)

区 分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の 給料月額	最高号給の 給料月額
6 級	部長、総合支所長、次長、局長、理事	14 人	5.1 %	320,600 円	422,600 円
5 級	課長、局長、参事、課長補佐	73 人	26.8 %	289,200 円	418,300 円
4 級	課長補佐	43 人	15.8 %	261,900 円	388,300 円
3 級	係長、主査	109 人	40.1 %	222,900 円	354,700 円
2 級	主事、技師	20 人	7.4 %	185,800 円	307,800 円
1 級	主事	13 人	4.8 %	135,600 円	243,700 円
計		272 人	100.0 %		

- (注) 1 西海市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。  
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



- (注) 平成18年度に8級制から6級制に変更している。  
 (旧給料表の1級及び2級並びに4級及び5級をそれぞれ統合)

#### ② 昇給への勤務成績の反映状況

実績なし
------

#### 4 職員の手当の状況

##### (1) 期末手当・勤勉手当

西 海 市		長 崎 県		国	
1人当たり平均支給額(24年度) 1,412 千円		1人当たり平均支給額(24年度) 1,603 千円		—	
(24年度支給割合)		(24年度支給割合)		(24年度支給割合)	
期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
2.60 月分	1.35 月分	2.60 月分	1.35 月分	2.60 月分	1.35 月分
( - ) 月分	( - ) 月分	( 1.45 ) 月分	( 0.65 ) 月分	( 1.45 ) 月分	( 0.65 ) 月分
(加算措置の状況)		(加算措置の状況)		(加算措置の状況)	
職制上の段階、職務の級等による加算措置		職制上の段階、職務の級等による加算措置		職制上の段階、職務の級等による加算措置	
・役職加算	5～15%	・役職加算	5～20%	・役職加算	5～20%
・管理職加算	なし	・管理職加算	10～20%	・管理職加算	10～25%

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合である。

##### 【参考】勤勉手当への勤務実績の反映状況(一般行政職)

実績なし
------

##### (2) 退職手当 (25年4月1日現在)

西 海 市			国		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.03 月分	28.788 月分	勤続20年	23.03 月分	28.7875 月分
勤続25年	32.83 月分	38.955 月分	勤続25年	32.83 月分	38.955 月分
勤続35年	46.55 月分	55.86 月分	勤続35年	46.55 月分	55.86 月分
最高限度額	55.86 月分	55.86 月分	最高限度額	55.86 月分	55.86 月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
定年前早期退職特例措置 (2%～20%加算)			定年前早期退職特例措置 (2%～20%加算)		
一人当たり平均支給額	17,663千円	406,227千円			

(注) 退職手当1人当たりの平均支給額は、平成24年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額です。

##### (3) 地域手当 (25年4月1日現在)

支給実績なし

(4) 特殊勤務手当 (25年4月1日現在)

支給実績(24年度決算)	32,276 千円			
支給職員1人当たり平均支給年額(24年度決算)	672,402 円			
職員全体に占める手当支給職員の割合(24年度)	12.7 %			
手当の種類(手当数)	9 種類			
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績 (24年度決算)	左記職員に対する支給単価
税務手当	市税事務従事者	市税の賦課、徴収又は収納管理に関する業務	1,976千円	給料月額100%の3
医師手当	診療所医師	医師に対する手当	28,440千円	月額100万円以内
社会福祉業務手当	福祉事務所ケースワーカー	ケースワーク、心理判定、一時保護棟の業務	720千円	月額10,000円
感染症等防疫作業手当	感染の危険がある作業等に従事した職員	感染の危険がある作業に従事したとき	0千円	日額290円
行旅病人、死亡人取扱作業手当	行旅病人、死亡人の取扱作業に従事した職員	行旅病人、死亡人の取扱作業に従事したとき	0千円	(病人) 1回1,500円 (死亡人)1回3,000円
狂犬病予防作業手当	狂犬病の予防注射違反犬の捕獲等に従事した職員	狂犬病の予防注射違反犬の捕獲等に従事したとき	0千円	日額200円
畜犬等死体処理手当	畜犬等死体処理業務に従事した職員	畜犬等死体処理業務	29千円	1件につき500円
航海手当	交通船乗組員	交通船航海業務	1,112千円	(船長) 給料月額の100%の8 (船員) 給料月額の100%の
火葬業務手当	火葬業務業務に従事した職員	火葬業務	0千円	1体処理につき2,000円

(5) 時間外勤務手当

支給実績(24年度決算)	71,345 千円
職員1人当たり平均支給年額(24年度決算)	237 千円
支給実績(23年度決算)	61,549 千円
職員1人当たり平均支給年額(23年度決算)	209 千円



## (6) その他の手当 (25年4月1日現在)

手 当 名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (24年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (24年度決算)
扶養手当	<p>扶養親族のある職員に対して支給されます。</p> <p>①配偶者 13,000円</p> <p>②配偶者以外の扶養親族 1人につき 6,500円</p> <p>③配偶者のいない職員の扶養親族のうち1人 11,000円</p> <p>④加算(16～22歳までの子がいる場合) 1人につき 5,000円</p>	同じ	—	55,285 千円	240,365 円
住居手当	<p>借家又は借間に居住し、月額12,000円を超える家賃等を支払っている職員又は自宅に居住して世帯主である職員に支給されます。</p> <p>①月額23,000円以下の家賃を負担している職員 家賃月額-12,000円</p> <p>②月額23,000円を超え、55,000円未満の家賃を負担している職員 (家賃月額-23,000円)×1/2+11,000円</p> <p>③月額55,000円以上の家賃を負担している職員 27,000円</p>	同じ	—	20,417 千円	189,038 円
通勤手当	<p>通勤のため交通機関又は有料の道路を利用し、運賃等を負担している職員又は交通用具(自動車等)を使用する職員に対して支給されます。</p> <p>①交通機関等利用者 1箇月当たりの運賃等相当額が55,000円まで全額支給</p> <p>②交通用具利用者 距離に応じて2,000円～24,500円</p>	同じ	—	34,559 千円	108,332 円
単身赴任手当	<p>公署を異にする異動等に伴い転居し、やむを得ない事情により配偶者と別居し、単身で生活することを常況とし、距離制限(60km以上)を満たす職員に支給されます。</p> <p>23,000円+加算額</p> <p>※加算額は距離に応じて6,000円～45,000円</p>	同じ	—	828 千円	276,000 円
特地勤務手当	<p>離島その他の生活の著しく不便な地に在所する公署に勤務する職員に支給されます。</p> <p>(給料月額+扶養手当)×20/100 4年まで</p> <p>(給料月額+扶養手当)×10/100 4～5年まで</p> <p>5年以降なし</p>	異なる	支給割合が一部異なる	3,332 千円	666,276 円
管理職手当	<p>管理又は監督の地位にある職員に支給されます。</p> <p>役職に応じて 8%～12%</p>	異なる	国は定額制	26,120 千円	522,391 円
管理職員特別勤務手当	<p>管理職手当を受給している職員が、休日において、臨時又は緊急の必要により勤務した場合に支給されます。</p> <p>勤務1回につき6,000円又は9,000円</p>	異なる	支給額が異なる	492 千円	61,500 円

5 特別職の報酬等の状況（25年4月1日現在）

区分		給料月額等		
給料	市長	669,600 円 ( 837,000 円)	(参考)類似団体における最高/最低額 1,010,000 円 / 389,500 円	
	副市長	601,200 円 ( 668,000 円)	800,000 円 / 526,500 円	
報酬	議長	389,000 円	500,000 円 / 274,000 円	
	副議長	329,000 円	450,000 円 / 234,000 円	
	議員	310,000 円	420,000 円 / 220,000 円	
期末手当	市長 副市長	(24年度支給割合) 2.95 月分 役職加算 20%		
	議長 副議長 議員	(24年度支給割合) 3.35 月分 役職加算 20%		
退職手当	市長 副市長	(算定方式) 837千円×在職年数×600/100 668千円×在職年数×360/100	(1期の手当額) 2,009万円 962万円	(支給時期) 任期毎 任期毎
	備考			

(注) 1 市長、副市長の給料については、平成21年5月から減額して支給しています。  
( )内は、減額措置を行う前の金額です。

2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額です。

## 6 職員数の状況

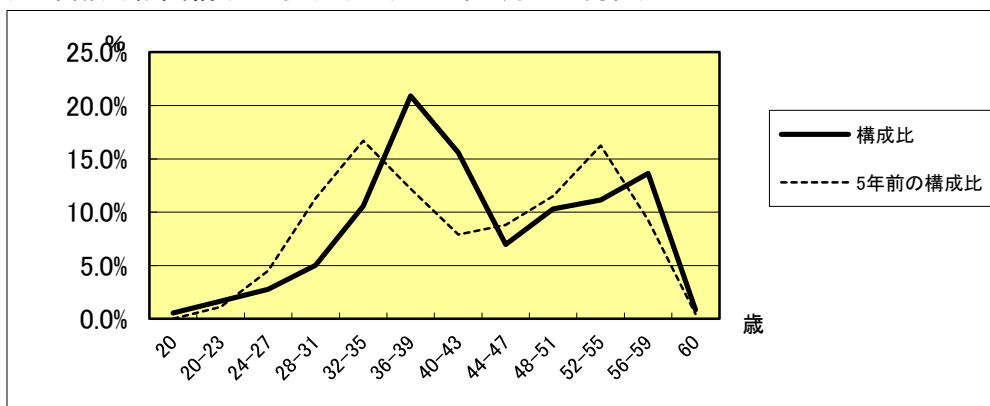
### (1) 部門別職員数の状況と主な増減理由(各年4月1日現在)

部門	区分	職員数		対前年増減数	主な増減理由	
		平成24年	平成25年			
普通会計部門	一般行政部門	議会	5	5	0	
		総務	88	84	▲4	総務部及び総合支所の欠員不補充による減
		税務	25	22	▲3	税務課及び総合支所の欠員不補充による減
		労働	2	2	0	
		民生	35	36	1	県への職員派遣による増
		衛生	36	35	▲1	保健師の欠員不補充による減
		農林水産	27	24	▲3	総合支所の欠員不補充及び県派遣終了による減
		商工	8	7	▲1	商工観光課の欠員不補充による減
		土木	28	26	▲2	住宅建築課及び総合支所の欠員不補充による減
		計	254	241	▲13	<参考> 人口1万人当たり職員数 78.12 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 68.63 人)
	教育部門	53	50	▲3	小中学校の統廃合による用務員の減、地区担当の組織変更による減、国体開催に伴う増	
小計	307	291	▲16	<参考> 人口1万人当たり職員数 94.33 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 91.55 人)		
公営企業等会計部門	病院	10	10	0		
	水道	17	15	▲2	水道管理員の欠員不補充による減	
	交通	6	6	0		
	下水	9	9	0		
	その他	29	28	▲1	長寿介護課の欠員不補充による減	
	小計	71	68	▲3		
合計		378	359	▲19	<参考> 人口1万人当たり職員数 116.37 人	
		[396]	[396]	[ 84 ]		

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数であり、派遣職員を除く。(教育長を含む)

2 [ ]内は、条例定数の合計である。

### (2) 年齢別職員構成の状況(平成25年4月1日現在)



区分	20歳未満	20歳)23歳	24歳)27歳	28歳)31歳	32歳)35歳	36歳)39歳	40歳)43歳	44歳)47歳	48歳)51歳	52歳)55歳	56歳)59歳	60歳以上	計
職員数	2人	6人	10人	18人	38人	75人	56人	25人	37人	40人	49人	3人	359人

(3) 職員数の推移

(単位:人・%)

年度 部門別	20年	21年	22年	23年	24年	25年	過去5年間 の増減数(率)
一般行政	262	261	253	266	254	241	▲ 21 ( ▲ 8.7 %)
教育	54	53	52	52	53	50	▲ 4 ( ▲ 8.0 %)
警察	0	0	0	0	0	0	0 ( 0.0 %)
消防	0	0	0	0	0	0	0 ( 0.0 %)
普通会計	316	314	305	318	307	291	▲ 25 ( ▲ 8.6 %)
公営企業等会計	130	127	122	119	71	68	▲ 62 ( ▲ 91.2 %)
総合計	446	441	427	437	378	359	▲ 87 ( ▲ 24.2 %)

(注) 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

## 7 公営企業職員の状況

### (1) 水道事業

#### ① 職員給与費の状況

区分	総費用 A	純損益又は実 質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 23年度の総費用に占 める職員給与費比率
	千円	千円	千円	%	%
24年度	194,801	6,798	29,326	15.1%	15.6

区分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
	人	千円	千円	千円	千円	千円
24年度	5	21,087	1,025	7,214	29,326	5,865

(注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。

2 職員数は、25年3月31日現在の人数である。

#### ② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況(25年4月1日現在)

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
水道事業	48.4歳	326,500	395,915
団体平均	43.5歳	330,300	417,593

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

#### ③ 職員の手当の状況

##### ア 期末手当・勤勉手当

西海市水道事業		西海市(一般行政職)	
1人当たり平均支給額(24年度)		1人当たり平均支給額(24年度)	
1,413 千円		1,412 千円	
(24年度支給割合)		(24年度支給割合)	
期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
2.60 月分	1.35 月分	2.60 月分	1.35 月分
( - ) 月分	( - ) 月分	( - ) 月分	( - ) 月分
(加算措置の状況)		(加算措置の状況)	
職制上の段階、職務の級等による加算措置		職制上の段階、職務の級等による加算措置	
・役職加算	5~15%	・役職加算	5~15%
・管理職加算	なし	・管理職加算	なし

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（25年4月1日現在）

西海市水道事業			西海市（一般行政職）		
（支給率）	自己都合	勸奨・定年	（支給率）	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.03 月分	28.788 月分	勤続20年	23.03 月分	28.788 月分
勤続25年	32.83 月分	38.955 月分	勤続25年	32.83 月分	38.955 月分
勤続35年	46.55 月分	55.86 月分	勤続35年	46.55 月分	55.86 月分
最高限度額	55.86 月分	55.86 月分	最高限度額	55.86 月分	55.86 月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
定年前早期退職特例措置（2%～20%加算）			定年前早期退職特例措置（2%～20%加算）		
一人当たり平均支給額	一千円	一千円	一人当たり平均支給額	17,663千円	406,227千円

（注）退職手当1人当たりの平均支給額は、平成24年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額です。

ウ 特殊勤務手当（25年4月1日現在）

支給実績なし

エ 時間外勤務手当

支給実績（24年度決算）	556 千円
職員1人当たり平均支給年額（24年度決算）	112 千円
支給実績（23年度決算）	883 千円
職員1人当たり平均支給年額（23年度決算）	177 千円

（注）時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

オ その他の手当（25年4月1日現在）

手 当 名	内容及び支給単価	一般行政職 の制度との 異同	一般行政職 の制度と異 なる内容	支給実績 (24年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (24年度決算)
扶養手当	扶養親族のある職員に対して支給されます ①配偶者 13,000円 ②配偶者以外の扶養親族 1人につき 6,500円 ③配偶者のいない職員の扶養親族のうち1人 11,000円 ④加算(16～22歳までの子がいる場合) 1人につき 5,000円	同じ		1,329 千円	265,800 円
通勤手当	通勤のため交通機関又は有料の道路を利用し運賃等を負担している職員又は交通用具(自動車等)を使用する職員に対して支給します。 ①交通機関等利用者 1箇月当たりの運賃等相当額が55,000円まで全額支給 ②交通用具利用者 距離に応じて2,000円～24,500円	同じ		311 千円	62,160 円

### Ⅲ 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

#### 1 一般職員の勤務時間の状況

	1週間の正規の勤務時間	1日の正規の勤務時間	開始時間	終了時間	休憩時間
勤務時間	38時間45分	7時間45分	8時30分	17時15分	12時～13時

※休憩時間は、平成20年4月1日から廃止。

#### 2 年次有給休暇の取得状況

平均取得日数	消化率
13.0	33.2%

※取得状況は、平成24年1月1日から平成24年12月31日までのものです。

#### 3 休暇制度の概要

休暇の種類	付与要件	付与日数	
年次有給休暇	職員の請求	年20日を限度に付与	
公傷休暇	職員が公務による負傷・疾病による療養	必要と認められる期間	
病気休暇	職員の負傷・疾病による療養	必要と認められる期間	
療養休暇	職員の結核性疾患による療養	必要と認められる期間	
生理休暇	女性職員が生理日に勤務が困難な場合	必要と認められる期間	
特別休暇 (主なもの)	骨髄移植のための休暇	骨髄液の提供に際する検査、入院等	必要と認められる期間
	結婚休暇	結婚式等の行事	7日以内
	産前休暇	8週間(多胎妊娠14週間)以内に出産予定	出産日までの請求期間
	産後休暇	女性職員が出産した場合	8週間
	育児時間休暇	生後満1歳に達しない子の育児	1日2回 各30分以内
	妻の出産休暇	妻の出産に伴う入院の付き添い等	2日以内
	子の看護休暇	小学校就学前の子の看護	年5日以内
	忌引休暇	親族の死亡	1日～10日
	父母の追悼休暇	父母の追悼のための特別な行事	1日
	夏季休暇	7月から9月期間における休暇	3日
	ボランティア休暇	被災者支援、福祉施設でのボランティア活動	年5日以内
介護休暇	親族が疾病等で介護が必要な場合	6ヵ月以内(無給)	
組合休暇	許可を得て職員団体の業務に従事する場合	年30日以内(無給)	



#### IV 職員の分限及び懲戒処分の状況

##### 1 分限処分(地方公務員法第28条)

処分事由 \ 処分の種類	降任	免職	休職	降給	合計
勤務実績が良くない場合					0
心身の故障の場合			6		6
職に必要な適格性を欠く場合					0
職制、定数の改廃、予算の減少により 廃職、過員を生じた場合					0
刑事事件に関し起訴された場合					0
条例で定める事由の場合					0
合 計	0	0	6	0	6

##### 2 懲戒処分(地方公務員法第29条)

処分事由 \ 処分の種類	戒告	減給	停職	免職	合計
法令に違反した場合	1		1		2
職務上の義務に違反し又は 職務を怠った場合					0
全体の奉仕者たるにふさわしくない 非行のあった場合					0
合 計	1	0	1	0	2

## V 職員のサービスの状況

### 1 服務に関する基本原則

地方公務員には、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、全力を挙げて職務に専念しなければならない根本基準のほか、次のような義務が定められています。

- ① 法令及び上司の職務上の命令に従う義務
- ② 信用失墜行為の禁止
- ③ 秘密を守る義務
- ④ 職務に専念する義務
- ⑤ 政治的行為の制限
- ⑥ 争議行為等の禁止
- ⑦ 営利企業等の従事制限

### 2 職員の服務規律の確保

平成24年度においては、次に掲げる通知などにより、職員の服務規律の確保に努めました。

日 付	内 容
平成24年11月29日	衆議院議員総選挙における服務規律の確保について
平成24年12月17日	職員の年末年始における網紀の厳正な保持について

## VI 職員の研修の状況

### 1 職員研修の状況

研修の種類	研修名	受講者数
基本研修	新規採用職員研修	3人
	職員研修第Ⅰ部	6人
	職員研修第Ⅱ部	3人
	職員研修第Ⅲ部	4人
	フォローアップ研修(前期:1年目)	3人
	フォローアップ研修(後期:2年目)	4人
	監督職研修第Ⅰ部	5人
	監督職研修第Ⅱ部	6人
	監督職研修第Ⅲ部	3人
	管理職研修第Ⅰ部	2人
	管理職研修第Ⅱ部	2人
専門研修	「コマ1秒の改革」からはじまる自治体業務改善研修会	1人
	危機管理特別セミナー	3人
	企業会計(財務諸表の読み方)研修	2人
	行政訴訟研修	1人
	クレーム対応研修	2人
	経済動向分析研修	1人
	契約事務研修(応用編)	3人
	契約事務研修(基礎編)	5人
	研修担当者研修	1人
	公金徴収(私債権)研修	7人
	交渉力養成研修	1人
	住民窓口事務の法律研修	7人
	情報公開と個人情報保護研修	6人
	人事労務管理研修	6人
	出納事務と決算処理事務研修	2人
	政策法務研修	2人
	接遇研修	1人
	地域づくりコーディネーター養成研修会	3人
	地域ブランディング研修	1人
	地方公営企業会計基準改正実務者研修	1人
	パソコン研修(Excel中級)	4人
	パソコン研修(access基礎)	1人
	パソコン研修(PowerPoint)	3人
	パソコン研修(Word中級)	3人
	福祉・行政他職種連携研修	2人
	不動産公売実務研修	4人
	民間派遣研修	2人
	面接技法研修	2人
	行政法基礎研修	2人
	市町村税務職員初任者研修	4人

その他	第4回LGNet研修会inHIRARADO	7人
	公金の債権回収業務に関する官民連携フォーラム	3人
	平成24年度九州徴収フォーラムin長崎	5人
	市町村アカデミー(市町村税徴収事務研修)	1人
	自治大学校(税務専門課程徴収事務コース)	1人
	漁港漁場関係工事積算基準講習会	1人
	中都市中堅職員合同研修会	3人
合 計		145人

## 2 職場内研修の状況

研 修 名	受講者数
新規採用職員研修	3人
管理監督者等を対象としたメンタルヘルス研修会	98人
総務省過疎対策室 室長 山口祥義氏 講演	118人
コミュニケーション研修	26人
合 計	245人

## Ⅶ 職員の福祉及び利益の保護の状況

### 1 職員の福祉制度

項目	実施主体	概要
共 済 制 度	長崎県市町村職員共済組合 公立学校共済組合長崎支部	短期給付、長期給付及び保健事業等を行っています。 ※各共済組合制度による
公務災害補償制度	地方公務員災害補償基金	職員が公務上労働災害を受けた場合、地方公務員災害補償法に基づく補償を受けます。  (平成24年度 認定件数 2件)

### 2 職員の健康診断の状況(平成24年度)

項目	受診者数	実施主体
定期健康診断	207人	西海市役所
2日ドック	65人	長崎県市町村職員共済組合
1日ドック	80人	

### 3 不利益処分に関する不服申立ての状況

内容	件数
職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する措置の要求	0件
職員に対する不利益な処分についての不服申立て	0件